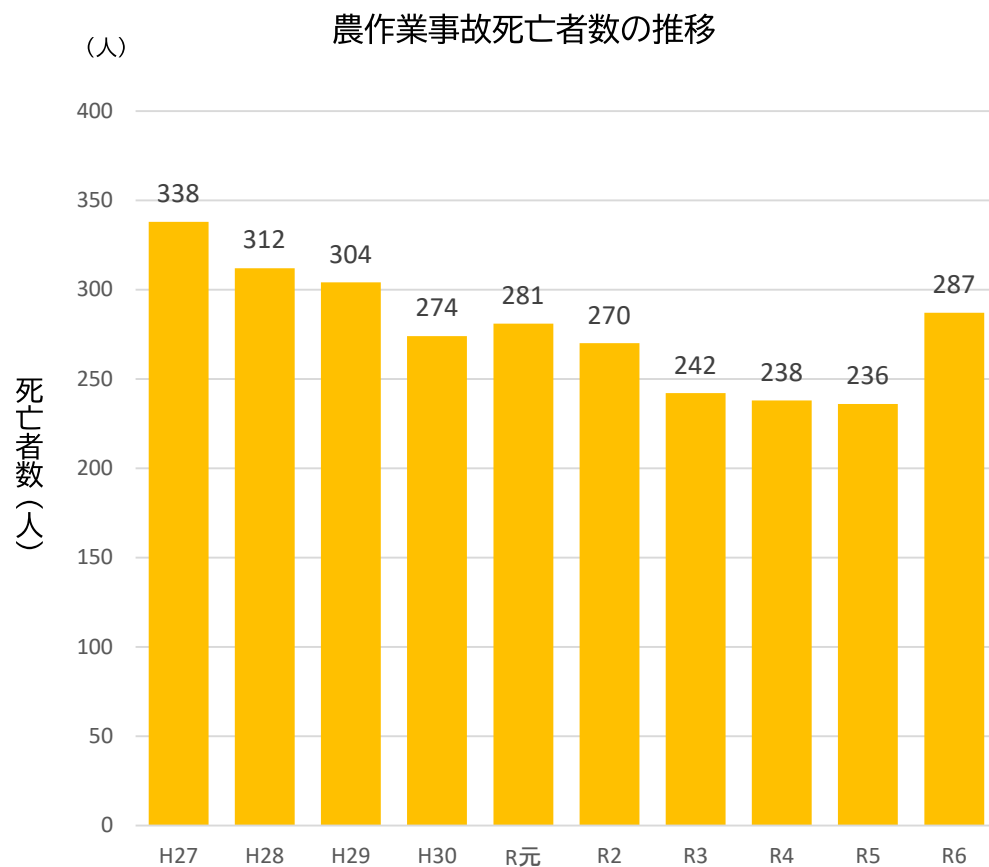
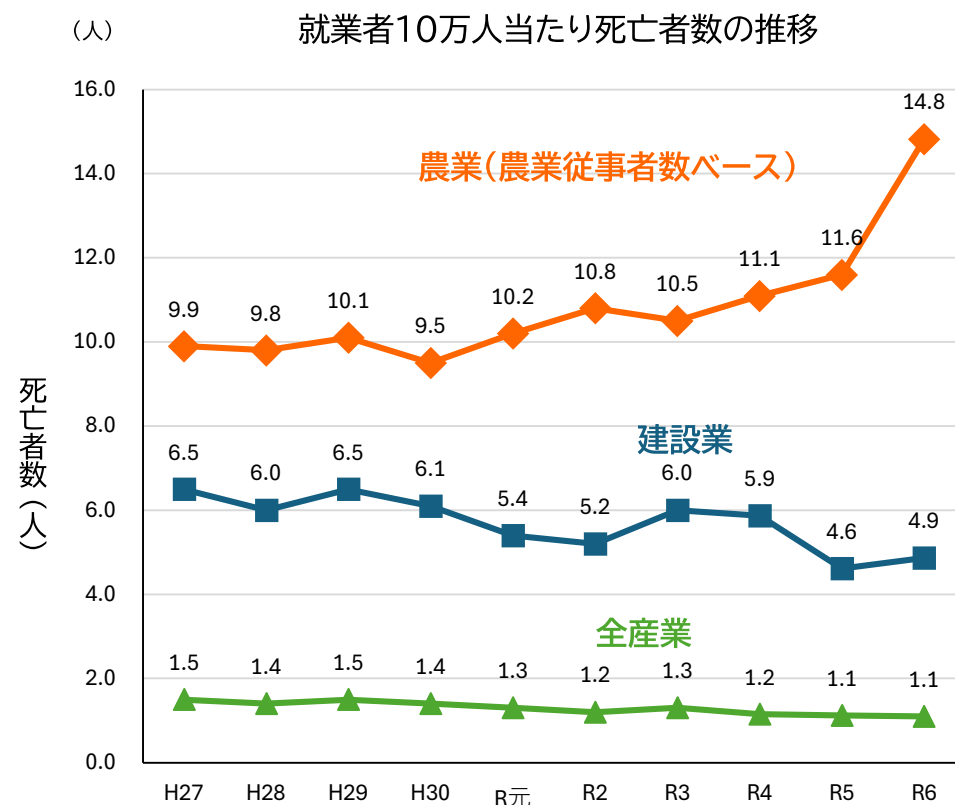


# 令和6年に発生した農作業死亡事故の調査結果

- 農作業事故死亡者数は、近年減少傾向にあったが、令和6年は287人となり、前年より急増(51人増)。
- これに伴い、就業者10万人当たりの死亡者数は14.8人に増加し、他産業との差が更に拡大。



※ 農作業死亡事故調査(農水省)



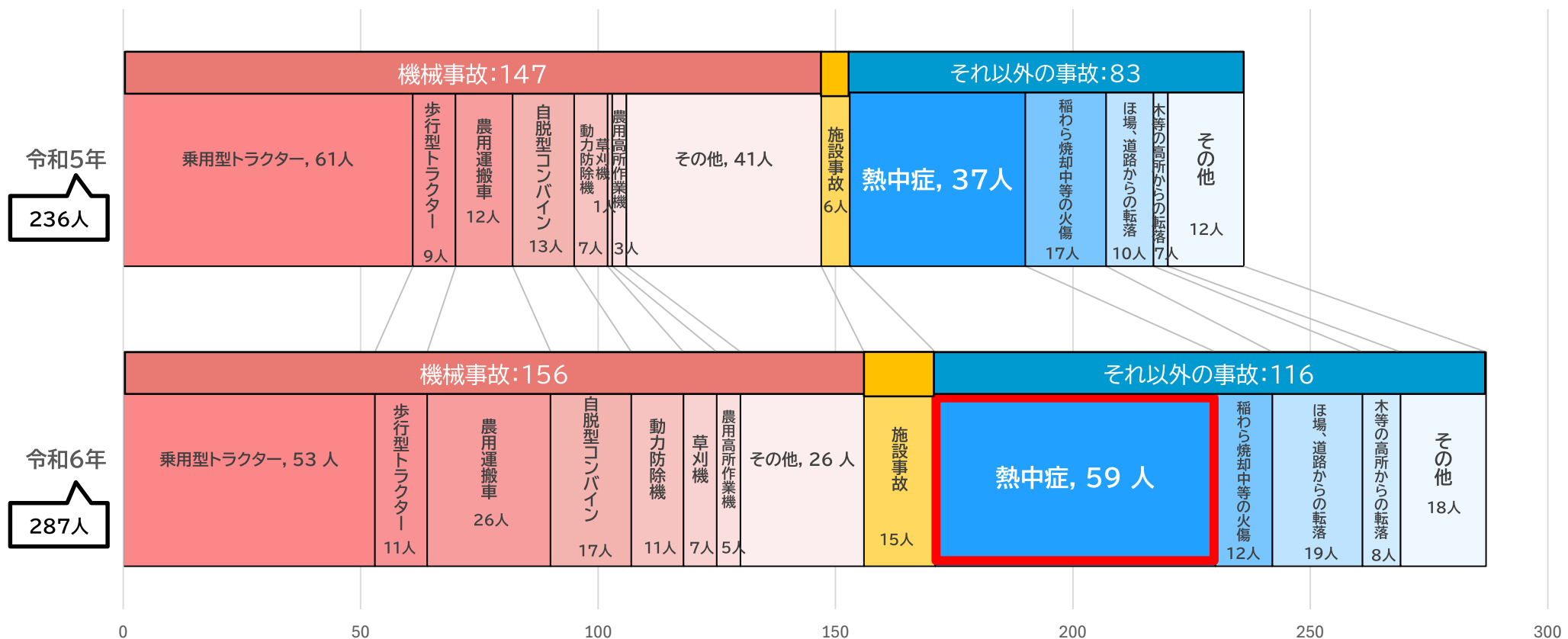
死亡者数 農業:農作業死亡事故調査(農水省)  
 他産業:死亡災害報告(厚労省)  
 就業者 農業:農林業センサス、農業構造動態調査(農水省)  
 他産業:労働力調査(総務省)

(注)就業者10万人当たり死亡者数の算出において就業者として使用していた農業就業人口の調査が令和元年で終了したため、令和2年から農業従事者数を使用して算出。

# 農作業死亡事故の発生状況の分析①

- 令和6年の農作業死亡事故を要因別にみると、「機械事故」、「施設事故」、「それ以外の事故」のいずれも前年より増加。
- 特に、「それ以外の事故」のうち「熱中症」が、前年の37人から59人に顕著に増加した(22人増)。

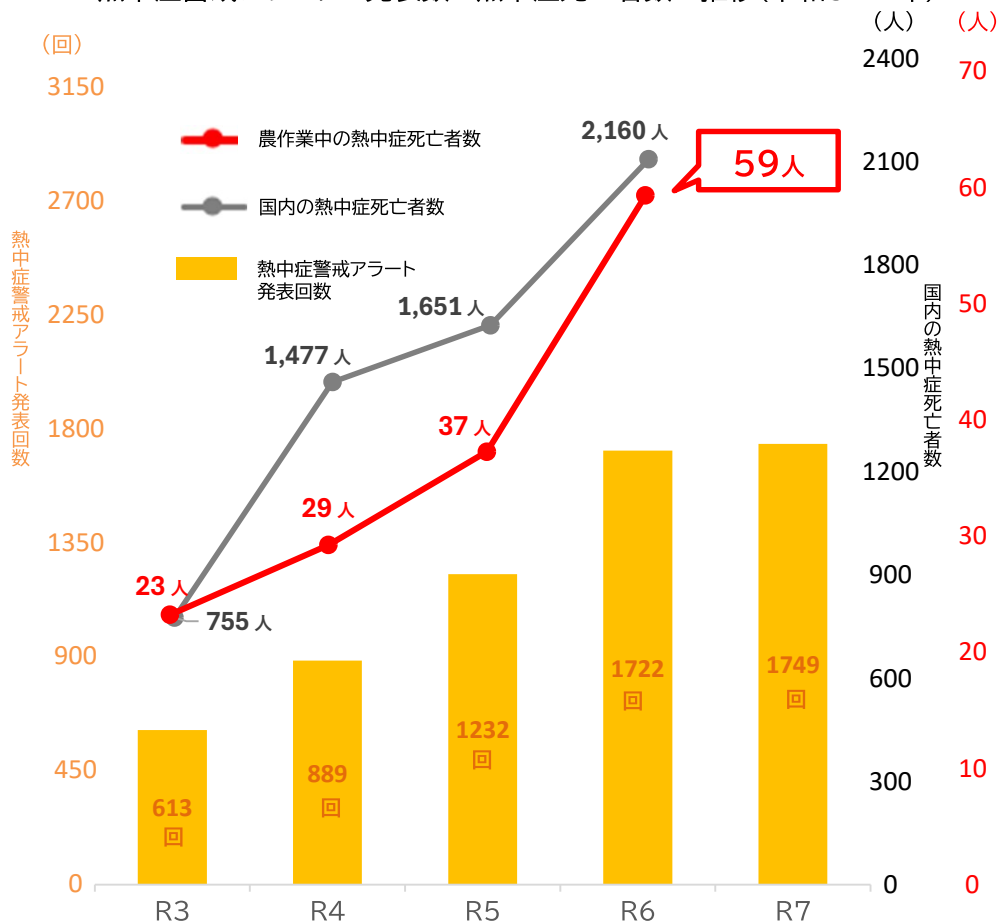
農作業死亡事故の要因別分析(R5→R6)



## 農作業死亡事故の発生状況の分析②

- 気象庁が発表する「熱中症警戒アラート」は、令和3年の制度創設以降、発表回数が毎年増加。これに伴い、厚生労働省が公表する熱中症の死亡者数も毎年急増しており、農作業死亡事故における熱中症の死亡者数も概ね同じ傾向で推移。
- 農作業死亡事故を発生月別にみると、熱中症警戒アラートが発表された5～9月の増加数(52人増)が全体増加数(51人増)を超えており、夏場の高温が、熱中症のみならず熱中症以外の事故にも影響している可能性が考えられる。

熱中症警戒アラートの発表数と熱中症死亡者数の推移(令和3～7年)



農作業死亡事故調査(農水省)、人口動態統計(厚労省)、熱中症警戒アラート発表回数(環境省)

夏季(5～9月)における農作業死亡事故の発生状況

	死亡件数 (全体)								(参考) 熱中症警戒アラート発表数	
	5～9月 (A)+(B)	熱中症		熱中症以外			熱中症以外 5～9月 (B)			
		5～9月 (A)	高所等からの転倒	草刈機	自脱型コンバイン					
令和5年	236	132	37	35	199	97	9	1	7	1,232
令和6年	287	184	59	56	228	128	20	6	12	1,722
増加数	51	52	22	21	29	31	11	5	5	490

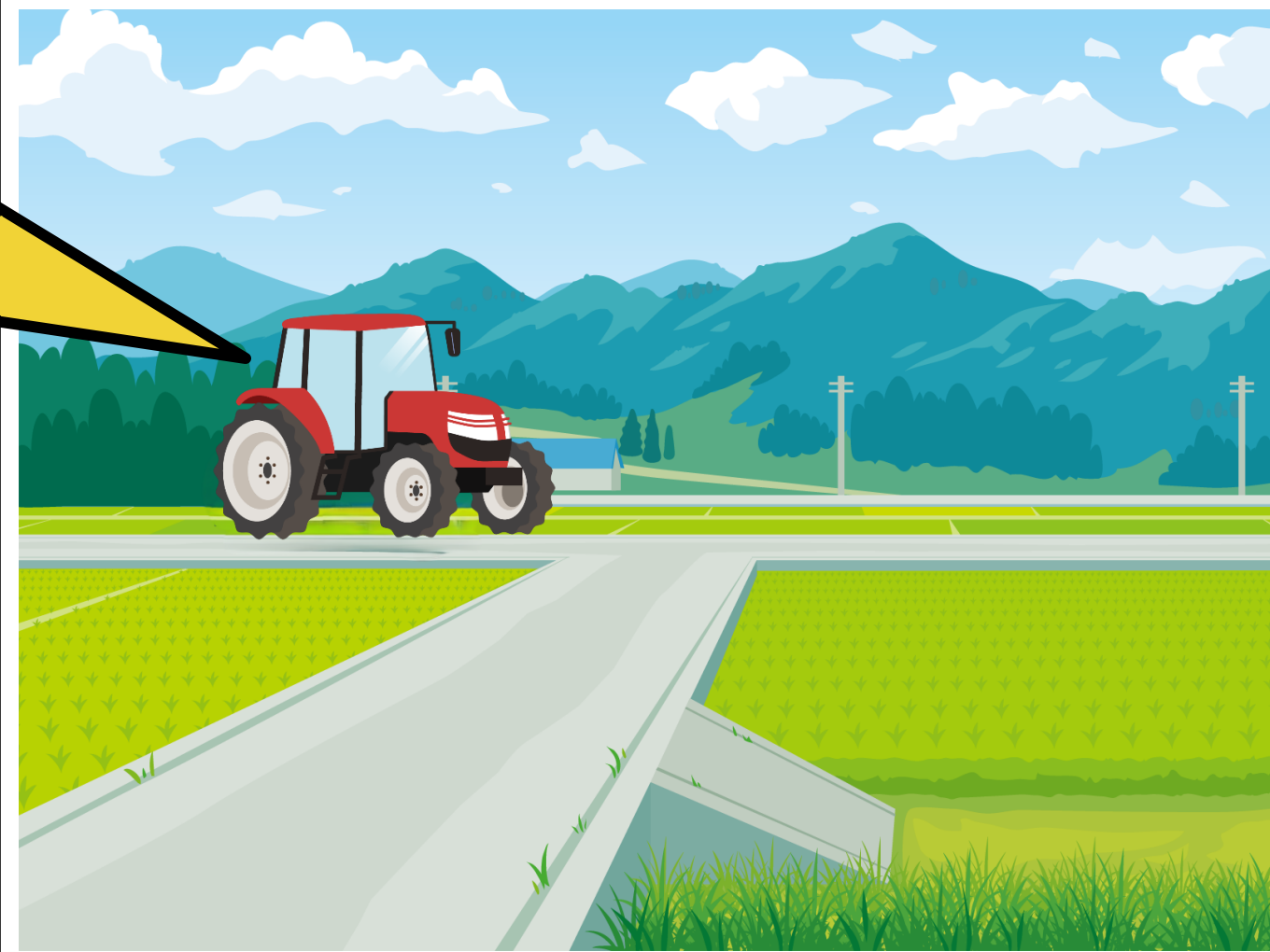
農作業死亡事故調査(農水省)

# シートベルト着用

## 義務化



道路運送車両の保安基準改正<sup>(※)</sup>により、乗用型トラクタで道路を走行する際には、シートベルト着用が義務化されます。 ※令和7年6月17日公布



義務化はいつから？

**令和9年1月1日** からです。

どのトラクタが対象？

令和9年1月1日以降に **製造された座席を有するトラクタ**は、**大型特殊自動車**  
・ **小型特殊自動車に限らず対象車となります。**

対象のトラクタには、ボンネット側面に座席ベルト着用義務車を示すステッカー<sup>(※)</sup>が貼付されます。

※ステッカーのイメージ



違反した場合は？

**シートベルトの着用義務違反**として、**点数1点**が付されます。

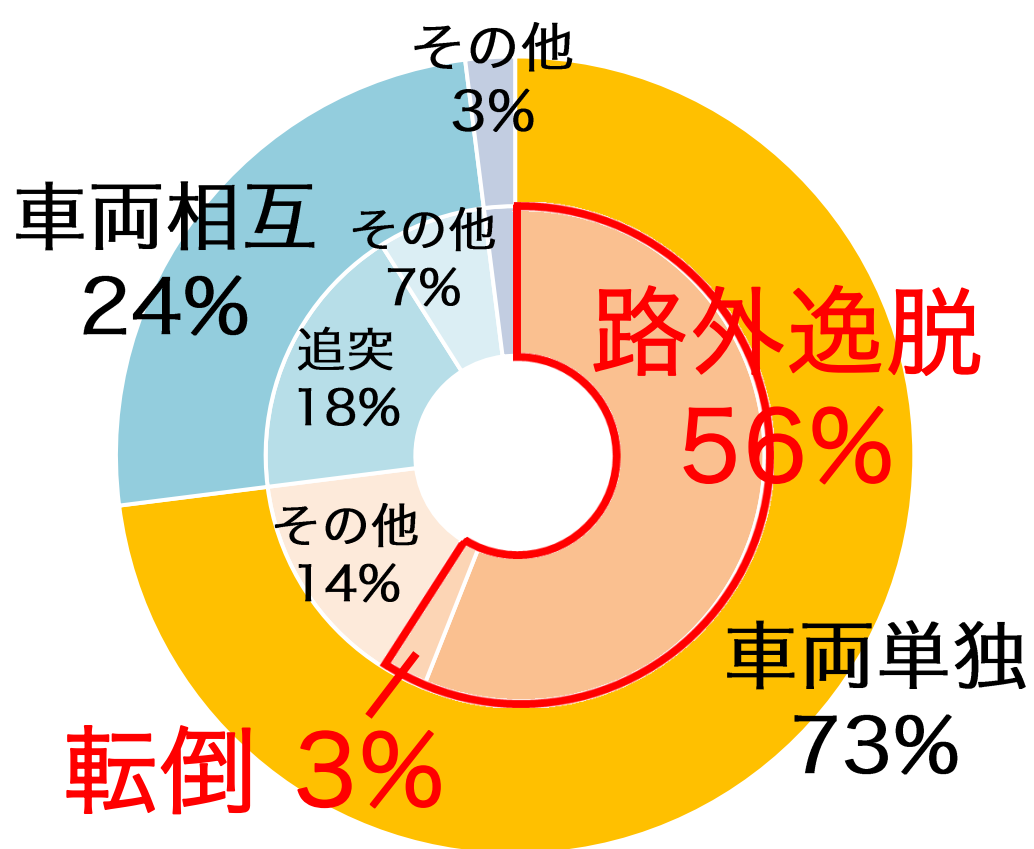
# シートベルトを締めましょう！

## シートベルト着用は、 トラクタの死亡事故率低下に有効です

### トラクタの交通事故の特徴

農耕作業用特殊車の死亡事故は車両単独による路外逸脱・転倒が多く、特に乗用型トラクタの死亡事故が多い状況。

農耕作業用特殊車における死亡事故類型別割合



(公財)交通事故総合分析センターのデータより農林水産省分析  
(平成23年～令和2年、1当2当合計)

【トラクタでの道路走行時の危険因子】

- ・ 左右独立ブレーキの連結忘れによる片ブレーキでの予期しない旋回
- ・ 作業機による車幅の変化や重心の変化
- ・ 凸凹道や狭路等、不安定な道路の走行

路外逸脱や  
転倒の可能性

車体から投げ出される、  
車体の下敷きになる等により  
死亡・重傷の恐れ



Copyright (c) 2010 NARO

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 ホームページ  
農業機械研究部門 農作業安全情報 イラストで見る事故事例より

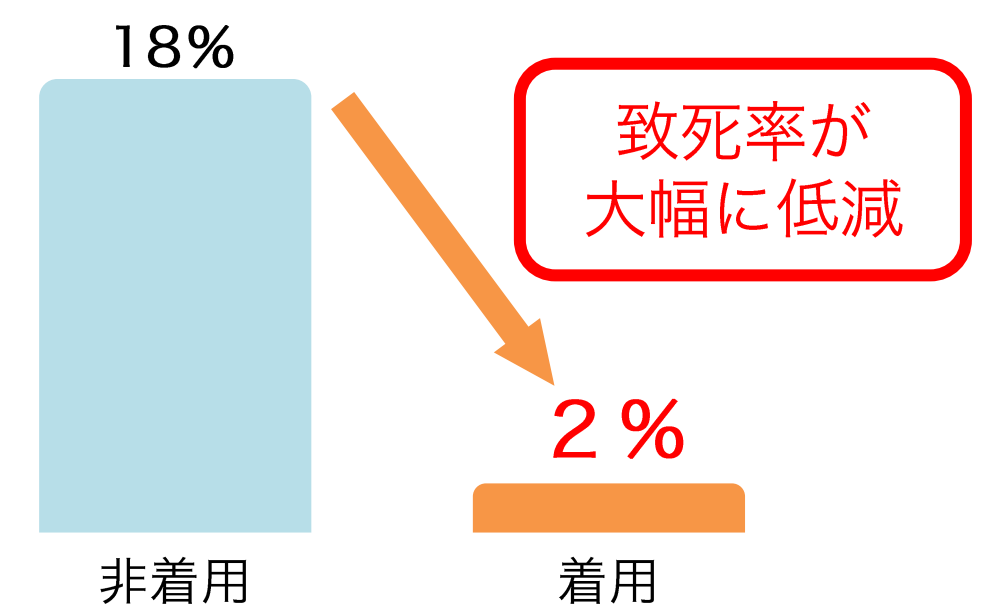
### シートベルトの効果

乗用型トラクタの路外逸脱・転倒事故における死亡・重傷リスクに対し、シートベルトを安全キャブ・フレームとセットで使用することが重要！



シートベルトを着用することで安全キャブ・フレームによりつくられる安全域にとどまることができ、トラクターの下敷きになることを防ぐことができる。

農耕作業用特殊車における事故時のシートベルト着用状況別致死率



(公財)交通事故総合分析センターのデータより農林水産省分析  
(平成23年～令和2年、1当2当合計)

### 参考情報

農林水産省ホームページもご覧ください。

シートベルト  
着用義務化について



(動画)  
シートベルト  
してありますか



# 参考となる資料（ホームページ）のご紹介

ポスターを作成する際の参考にしてみてください。

○「農作業安全対策」のページ（農林水産省）

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/index.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html)

○農作業安全の啓発資料

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/siryo.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/siryo.html)

○熱中症対策について（農林水産省）

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/netchu.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/netchu.html)

○農作業安全対策全国推進会議（農林水産省）

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/zennkoku.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/zennkoku.html)

○農作業安全情報センター（（国研）農研機構革新工学センター）

<https://www.naro.go.jp/org/brain/anzenweb/index.html>

都道府県、市町村、農業関係団体、農業機械メーカー等でも農作業の安全のための取組を行っています。